



日本女子大学家政学部 被服学科は2021年度入学者 から新カリキュラムを導入します

日本女子大学家政学部被服学科は、2021年度入学者から新しいカリキュラムを導入します。これにともない、これまでの3コースを「ファッションサイエンス」、「ファッションデザイン」、「ファッションアート」に刷新します。この刷新によって、それぞれのコースの基礎から最先端までを段階を追って系統的に学ぶことができます。

- ・「ファッションサイエンス」コース：主に、衣服、繊維、素材の物理的、化学的な特性や衣服の流通・消費を学ぶコースです。
- ・「ファッションデザイン」コース：主に、安全、快適、機能的で審美性にも優れた衣服を科学的に設計する手法を学ぶコースです。
- ・「ファッションアート」コース：主に、衣服や服飾を歴史、文化、美学の観点から学ぶコースです。

取得可能な資格(任用資格を含む)：衣料管理士(一級)、中学校・高等学校教諭一種免許状(家庭)、学校図書館司書教諭、司書、博物館学芸員、社会福祉主事、日本語教員養成講座。

関連資格：繊維製品品質管理士(TES)、色彩検定、パターンメイキング技術検定など。



日本女子大学

家政学部 被服学科
東京都文京区目白台 2-8-1 〒112-8681
Tel.03-5981-3477 hihukujwu@fc.jwu.ac.jp
https://unv.jwu.ac.jp/unv/academics/human_sciences_and_design/clothing/index.html



CLASS INTRODUCTION

自然科学、人文科学、社会科学の視点から被服と衣生活を学び、創造します

2021年度入学生からの新しいカリキュラムに対応した授業の一部をご紹介します。新カリキュラムに沿って材料、造形、衣環境、整理・染色、流通・消費、文化・美学といった分野を総合的に学ぶとともに、3つのコースそれぞれに対応した授業を段階を追って選択することで、自分が興味関心を持つ分野の知識や技術を効率よく修得できるようになりました。



ファッションサイエンス

01

染色加工学実験

各種染料の各種繊維に対する染着性や堅ろう性に関する実験を行います。衣料管理士取得に必要な科目です。繊維や染料による染まり方の違い、染色方法や染料そのものへの理解を深めます。用いる染料は直接染料、酸性染料、カチオン染料、塩基性染料、反応染料や分散染料など様々です。

1年生から学んできた、繊維や布の特性を総動員し実験を行うので理解が深まります。



ファッションサイエンス

02



衣材料学実験 I・II・III

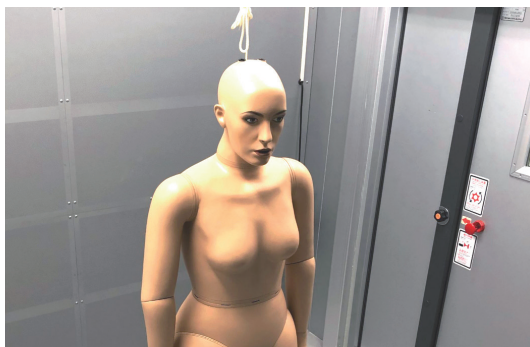
Iでは、繊維の鑑別実験と布の混用率測定実験を、様々な観点から種々の方法を用いて実験し、主要な繊維や布の化学的、物理的特性を経験的に学びます。

IIでは主としてJIS(日本産業規格)法を中心とする試験・評価を実施して、実際に品質管理等で行われている試験方法を修得します。

IIIではI、IIで学んだ知識と技術を応用し、実際に衣服として着用されることを想定した性能評価を行います。

ファッションサイエンス

03

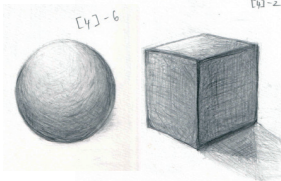


衣環境学

人体から発生する熱や水分にはどのような特徴があるのか、身体の機能と衣服を照らし合わせてよりよい着心地とはなかに考察します。衣服を人体-衣服-環境システムでとらえ、主として温熱的な着心地について解説します。

また、人体の静的および動的な特性、着用時の衣服材料特性を把握し、様々な立場状態の人間の着心地を考慮した衣服設計の基礎を解説します。

01

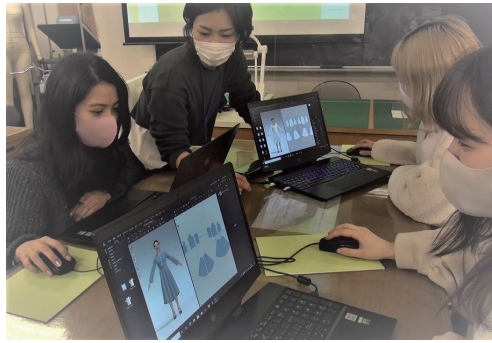


基礎デザイン演習

被服、家電製品、家具、自動車、住宅、公共空間など人工物をより良く、より魅力的に、より使いやすく設計・デザインする際の基本的なスキルを身につけます。

鉛筆の削り方、持ち方、デッサンの方法から始まり、様々なものの描き方を学びます。さらに、ロゴ、キャラクターや配色作品を作成し、基礎デザインで学んだ知識や技術を実践に応用します。

02



アパレルCAD演習

アパレルCADとは、アパレル設計に必要なパターンメイキングから縫製仕様書の作成に至るまでの多様な情報を効率よくコンピュータで作成するシステムのことです。

アパレルCAD演習ではCADの基礎知識や代表的なデザインソフト、コンピュータ周辺機器の基本操作を学習します。さらに、大型プリンターを用いて好みの画像を布にプリントする手法も学びます。三次元計測を行ったデータをもとに自分の体格のアバターに自分でクreaコンボで作成したパターンのワンピースを着装させるシミュレーション体験も行います。

03

4. アイテム動向

・ロングワンピース

無地、柄物ともに種類が豊富。シルエットはAラインやスリム&ロングが人気。羽織ったり、ボトムスレイヤードにしたりのアレンジ自在。



アパレルデザイン論

アパレル産業における商品企画の方法論や具体的手法を学びます。ファッション産業の中の消費者、市場、流通構造の実際を理解するとともに、生活者のライフスタイルの変化が新たなアパレル需要や流行におよぼす影響を考察します。また、商品企画づくりを通して、自分のアイデアを具体的に表現する手法を学びます。

実際に店舗を訪れ、トレンドの動向をマーケティング調査し、トレンド予測と比較します。

01



染織文化史

日本を中心に、繊維の利用、糸作り、染め、織りの歴史を理解することを目的としています。天然繊維の利用方法や、現在も各地で行われている伝統的な染めや織りの技法について、映像などを用いて学びます。

あわせて、伝統染織の保存と継承の問題についても考えます。授業では、各地域の伝統的な染織の映像資料を見ながら歴史や文化的背景を楽しく学びます。

02



西洋服飾文化史 I・II

ヨーロッパを中心とした西洋の服飾について、Iでは古代から17世紀まで、IIでは18世紀から20世紀までを、時代の流れとともに学びます。まず、服飾の基本用語を学習し、次に図像資料で理解を深めていきます。

図像資料は美しい絵画や彫刻、ファッションプレートなど様々な作品をまとめたもので、各時代の多様な作品に触れることができます。ひとつの時代が終わるごとに、その次代の服飾文化がわかる映画を鑑賞し、実際に学んだことと照らし合わせながら、普段とは少し違う視点で映画を楽しみます。